

第9回集会(SADI 箱根、2001)

S A D I ニ ュ ー ス
2002年6月15日 SADI組織委員会

第9回ダニと疾患のインターフェイスに関するセミナーの議事録
Proceedings of 9th Seminar on Acari-Disease Interface 2001 in
Hakone

SADI ホームページ [<http://www9.plala.or.jp/sadi/>]

第9回集会 (SADI 箱根大会) は、以下の通り開催された。

1. 開催要領

ホスト：岸本寿男 (国立感染症研究所)・吉田芳哉 (神奈川県衛生研究所)
期 日：2001年8月31日 (金)～9月2日 (日) の2泊3日
会 場：強羅温泉 神奈川県企業庁保養所せせらぎ研修室 (足柄下郡箱根町
強羅 13 20 Tel. 0460-2-5166)
宿 泊：ホテルや旅館に分宿
費 用：参加費 1,000 円, 懇親会費 6,000 円, 疫学ツアー1,000 円
発 表：口演と討論および資料の展示
企 画：半日の疫学ツアーおよび標本同定会

2. プログラム

1日目 8月31日 (金)

14:50～ 開会, ホスト挨拶

15:00～ 一般口演

古屋由美子：平成12年度神奈川県における恙虫病発生状況

小川基彦：全国の恙虫病発生状況 (1998)

高田伸弘：西日本で確認されたタテツツガムシの分布と疫学的意義

岩崎博道：広島県におけるツツガムシ病

楊 孝康：ダニ媒介性疾患の現状 (1,000 検体の調査報告) と教育活動

青木弥生：ミトコンドリア DNA 遺伝子構成配列比較によるダニ系統解析

矢野泰弘：ハムスターへ実験感染させた人由来 *Babesia microti* 近似株 (神戸株) の赤血球内微細構造について

大滝倫子：疥癬の2症例

17:00～17:40 教育講演

小林睦生：路上生活者におけるコロモジラミ寄生状況とシラミ媒介性感染症

座長 岸本寿男

17:40～ 自由討論

2日目 9月1日（土）

8:31～12:00 疫学ツアー

14:00～14:50 特別講演 I

大利昌久：クモの話 座長 益川邦彦

15:00～15:50 特別講演 II

青木淳一：ササラダニの話 座長 高田伸弘

16:05～17:35 一般口演

馬原文彦：日本紅斑熱の診断基準

馬原文彦：感染症情報（Astrakhan spotted fever について）

井上敏久：静岡県で初めて確認された日本紅斑熱患者について

田原研司：島根県における日本紅斑熱リケッチアの疫学について

山本正悟：宮崎県における紅斑熱群リケッチア症

藤田博己：国内のマダニ類におけるリケッチアの分離状況：紅斑熱群とチ

フス群 について

17:35～ 自由討論

18:30～ 懇親会

3日目 9月2日（日）

9:00～

高橋 守：ニホンカモシカで見られた *Sarcoptes scabiei* と *Chorioptes* sp. の二重寄生

三角仁子：フトゲツツガムシとタテツツガムシによる皮膚炎，その疫学的意義

橋本知幸：ヒョウヒダニ類防除 最近の研究

及川陽三郎：マダニ刺症およびその病原媒介の可能性について

高田伸弘：東南アジアで見出されたライム病関連ボレリアの疫学的意義

石・ 史：大陸からボレリアが拡散しつつあることの分子遺伝学的証拠が福井県の山地で見つかった？

青山岳子：ライム病の1例—富士山麓でのマダニ刺症

牛島陽子：ダニからの回帰熱ボレリア検出とベクター活性

増沢俊幸：モスクワ近郊におけるライム病ボレリア種とマダニ種との関連について

11:30～ 総括討議および事務局アナウンス

12:00 解散

3. 登録参加者名簿（ほぼ五十音順）

2001年8月30日現在

青木淳一（生命の星・地球博物館）
青木弥生（福山大学）
青山岳子（日大医学部皮膚科）
安居院宣昭（国立感染研）
飯塚郁夫（川崎市衛生研究所）
石・史（福井県衛生研究所）
板垣朝夫（島根県保健環境科学研究所）
稲田貴嗣（神奈川県衛生研究所）
井上敏久（沼津市立病院）
岩崎博道（福井医大）
牛島陽子（福山大学）
及川陽三郎（金沢医大）
大滝倫子（九段坂病院皮膚科）
大滝哲也（東京都）
大利昌久（おおり医院）
小河正雄（大分衛環研究センター）
小川基彦（国立感染研）
海保郁男（千葉衛研）
片山 丘（神奈川衛研）
岸本寿男（国立感染研）
北沢高司（産業医大生物学）
小林睦生（国立感染研）
佐々木年則（国立感染研）
椎橋 孝（日大生物資源科学部）
高田伸弘（福井医大）
高橋守（川越総合高校）
田原研司（島根県保健環境科学研究所）
田淵紀彦（福山大学）
多村 憲（新潟薬大）
多村夫人
千屋誠造（高知県衛生研究所）

野上貞雄（日大生物資源科学部）
橋本知幸（日本環境衛生センター）
馬場俊一（日大駿河台病院）
福長将仁（福山大学）
福長登茂子（福山大学）
藤田博己（大原研究所）
古屋由美子（神奈川衛研）
本田俊郎（鹿児島県環境保健センター）
益川邦彦（神奈川衛研）
増沢俊幸（静岡県立大学）
馬原文彦（馬原医院）
馬原夫人
三角仁子（埼玉医大）
柳原保武（静岡県立大学）
矢野泰弘（福井医大）
山本正悟（宮崎衛環研）
山本徳栄（埼玉衛研）
楊 孝康（ひがし十勝病院）
吉田芳哉（神奈川衛研）

4. 次回開催の予告

ホスト：SADI 組織委員会

期 日：2002年8月30日（金）～9日1（日）の予定

開催地：淡路島

会 場：兵庫県立淡路夢舞台国際会議場（中会議室）

（〒656-2301 兵庫県津名郡東浦町夢舞台1 Tel:0799-74-1000）

交 通：空路は大阪国際空港・関西国際空港など，JRでは新幹線新神戸
駅・西明 石駅で乗換．車は神戸淡路鳴門自動車道など。

案 内：従来の関係者や関連学会，地元関係者へ，4月初めに案内を送る。

編集や事務連絡などは下記まで

・高田伸弘（福井医科大学）

〒910-1193 福井県吉田郡松岡町下合月 23-3

Tel 0776-61-8330（直） Fax 0776-25-0663（直）

e-mail acaritakada@nifty.com

・藤田博己（大原研究所）

〒 960-0195 福島市鎌田字中江 33
Tel 024-554-2001(235) Fax 024-554-6879

SADI 組織委員会

医ダニ学担当

- ・高田伸弘、矢野泰弘（福井医科大学）
- ・藤田博己（大原研究所）

臨床医学担当

- ・馬原文彦（馬原医院）
〒779-1510 徳島県阿南市新野町信里町 6-1

Tel. 0884-36-3339 Fax. 0884-36-3641

- ・大滝倫子（九段坂病院）

〒102-0074 千代田区九段坂南 2-1-39

Tel. 03-3262-9191 Fax.03-3264-5397

微生物学担当

- ・岸本寿男（国立感染症研究所）

〒162-8640 東京都新宿区戸山 1-23-1

Tel. 03-5285-1111 Fax. 03-5285-1208

- ・吉田芳哉（神奈川県衛生研究所）

〒241-0815 横浜市旭区中尾 1-1-1

Tel. 045-363-1030 Fax. 045-363-1037

口演抄録

省略

編集後記

この SADI は前回の大会までは地方巡業を主眼に開催されて来ました。それは日本中の地域にダニの教えを伝導するため、関係各位にはそれなりの成果はあったとお気付きと存じます。そういう中で、今回はそろそろ首都圏に近い地域で開催し、首都圏の関係者のご認識も高めていただこうということで、国立感染症研究所と神奈川県衛生研究所にお世話いただき、天下の陰で知られた箱根町で開かれた次第です。一般講演は多くの方に充実した話題を提供いただきましたが、加えて、退官されたばかりの青木先生には環境指標

としてのササラダニのお話のほか、疫学ツアーでは箱根の自然を案内していただきました。また、ダニ類縁のクモ研究で著明な大利先生には大変に興味深いお話をいただき、啓発されるどころ大でありました。さらに、感染研の小林先生には、世相を反映した問題になりつつあるシラミ感染の話題を教育講演いただき、ダニ研究者としても種々のヒントを与えられ有意義でありました。

こういった流れで来年の大会を考える時、いよいよ記念すべき 10 回目ではありますから、いたずらに派手でなくて結構ですが、やはり節目としての盛り上がりはほしいものと考えます。開催地域は種々の案が出ましたが、順から言えば近畿圏くらい、その中で疫学的に話題の多い地区はどこかと頭をひねりますと、そうです、淡路島がありました。ここは、紅斑熱、ツツガムシ病、バベシア症の発生が知られ、症例と媒介ダニ、両方について話題の多いところです。幸い、高田らはここをフィールドに調査を多く手掛けて土地感があり、加えて馬原先生も隣県なので支援いただくのが容易ということ、そこで組織委員会で協議しました結果、来年 10 回目の大会は淡路島にて、委員会自体がお引き受けしようということになりました。会場としましては、同島北部で阪神地区に近い兵庫県立淡路夢舞台国際会議場の一角をお借りし、隣接提携のウエスティンホテルに大方の宿を手配させていただく予定です。委員会としましても、できる限り内容豊に、かつ便利で格安な開催を目指しますので、関係各位におかれてはお誘い合わせの上、多くの皆様のご参加をお根がいたします。これまでの 10 年間を顧みながら、今後の行くべき方向など討議する場になれば幸いです。何かご提案でもありましたら、当方へお諮り下さい。